

## 定期報告

2011年5月18日

天候:晴れ 温度:室内21℃ 室外13℃(午前7時)

湿度:48% 風:微風

放射線量:0.09  $\mu$  Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝:パン、ベーコンエッグ、野菜ジュース、ミニトマト

昼:カレー

夜:ご飯、肉じゃが、サラダ、きんぴらごぼう、

氏名:(薬剤師) 西村宜朗

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

06:50 朝食。佐藤、葛西総務担当による合作。おいしく頂いた。

07:30 朝のミーティングと周辺の散策。復興の早さを確認。瓦礫は片付いているのだが、大量のため終息時期はまだ予想できない。また、気温も上昇してきたため臭いがひどくなってきていた。道路をよく見てみると魚も腐っていた。虫も増えてきているだろう。

08:45 救護所の朝のミーティング。

医師から、昨日の救急搬送患者の経過、他地域でのボランティア活動の情報、避難所トイレに導入計画されている音姫(トイレの音を目立たなくする装置)の進展状況の説明。

保健師から、避難所での生活状況と相談事例を医師へ申し送り、避難所責任者から暑さ対策を検討中の旨とうがい励行を保健師と連携して強化する旨を説明。

薬局よりは、昨日に引き継いだ救急の薬箱の進捗状況を説明。足りない薬が届き次第、運用方法を保健師、避難所代表、学校用務員と話し合う予定。

09:00 診察開始

10:00 昨日の目の症状の訴えがある患者が来所

10:30 昨日高校生より依頼された身長計の探索。

保健室内でみつき保健室の先生に確認し自由に測れる場所に設置。地震発生や支援隊投入などいろんな出来事がある間に片付けられてしまっていたようだ。

11:00 学生も使う生徒会室の冷蔵庫にインスリン注射が保管されていることを知り、隣の施設している薬品倉庫に移した。

11:30 午前診療終了

12:00 昼食

13:00 午後診療開始

13:30 石山薬剤師と葛西総務担当は他の診療所、薬局の視察へと向かってもらった。受診患者様へは他保険医療機関の受診を勧めているが、民家の一室で再開したり、神社の一角だったりするため案内の補助にする外観の写真撮影も依頼。わかりやすい地図を作製した。また、再開した診療所の現状を知るために藤川医師に

了解を得て看護師 1 名を同行して視察へと向かってもらった。

15:00 視察隊が帰り、各診療所、薬局状況を報告。

保険診療に基づいた診療を行っているため、我々が災害対策本部から得る情報は知らないようだった。藤川医師チームがいる間は、看護師がメールにて各診療所へ伝達し、その後は当社チームで引き継いでいくことを確認。

また、安易に再開したばかりの薬局へ処方せんを発行すると患者様のたらいまわしになっていることも確認。再開した薬局ではまだまだ在庫が圧倒的に足りないようだった。

16:00 午後診療終了

17:00 釜石災害対策本部でのカンファレンスに参加。

少ないがインフルエンザが発症している避難所もあるようだった。また、今回はクイックルワイパー、ペーパータオルと生活用品に近いものの補充を薬局に依頼。一般支援助物資からの補充が可能なようだった。

17:30 2 日ぶりの入浴

18:50 大槌高校へ戻り夕食。

21:00 藤川医師チームと DVD を見ながら談笑

23:00 就寝

## 引継ぎ事項

### 避難所への救急箱設置について

在庫のある薬品については補充出来たが、商品に偏りがあり満足な状況にならないため救急箱 3 箱に。避難所の約 250 名分の救急箱であるが管理法などを確立しない限り有効には利用できないため、明日は保健師、避難所の代表、用務員、薬剤師の 4 者で検討する。

### 災害対策会議より

ある避難所では熱が下がったが、インフルエンザ A 型陽性の患者が 2 名出たようだった。こちらでもうがいや手洗いの励行の強化は必要である。

### 避難所住民との会話から

本日はジギスカンを避難所の皆で焼くようだ。また、土日のそば打ちについても話していたことから、避難所を積極的に盛り上げていくグループがいるようだ。

体育館内で仕切られた居住場所によっては、暑いところと寒いところがあるため、窓も簡単には開けられない。避難所内の共同生活の難しさを今日も感じさせられた。

今日の問題点は、災害対策本部と再開した医療機関の連携が取られていなかったこと。災害救助法と健康保険法と違う法令のもと医療を行う事情もあるかもしれないが、本当に患者様のためになっていないと感じた。

また、避難所内での共同生活では、長期の滞在とともに、問題が増えていく傾向があると思われる。改善や解決は難しいかもしれないが、関係者による継続した検討が望まれる。

氏名:石山 郁弥(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

07:00 朝食

08:00 周辺環境確認、薬局チームミーティング

08:45 藤川医師チームとカンファレンス

09:00 午前の診察開始

11:30 午前診療終了

12:00 昼食

13:00 周囲の病院などの医療機関の視察

15:00 大槌高校到着

16:00 診察終了

16:20 釜石対策本部へ出発

17:00 買い出し

18:50 大槌高校着

19:00 夕食

数種類の OTC が入った救急箱の中で足りないものを依頼したが、個別には応じられないとのことで同じ内容の救急箱が計 3 個と少量の湿布薬が支給された。再度確認し、後日避難所に受け渡す予定。

先日の身長計を探していた高校生のためチームで探し発見、廊下に設置。数時間後先日の高校生と 10 人くらいの学生が楽しそうに計測していた。見つけ出して良かったと思えた瞬間だった。

#### 周辺の医療機関の視察

他の避難所では撤退をはじめた医療チームがあるため、避難所で医療を必要としている人たちへ情報提供するため周辺の医療機関情報を収集。

本日は3診療所と隣接する薬局の視察を行った。徐々に患者様は避難所救護所から診療所へ移られているようだった。しかし、設備は必要最低限のものしかなく、まだまだ救護所での支援は必要だと感じられた。大槌高校避難所の救護所のほうが多くの医薬品の在庫があった。

許可を得て医療機関内、外観の写真を撮影し、すでに掲示されている地図と共に掲示する予定。より分かりやすいものになっていくように検討した。

救護所内の環境は、以前のチームが整えてくれていたのであまり変更する必要はなかった。

チームの撤退時期も考えていく必要もあったので、避難所の皆さんへの情報を充実するように周囲を視察したが、医療機関内の設備はまだまだ不十分だと感じられた。

投薬した被災者の皆さんに感謝の言葉をいただくとてもうれしくなった。今後も皆さんの役に

立てることを見つけていきたい。

葛西豊誠

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 朝食

8:00 ミーティング

8:45 診療前カンファレンス

9:00 診察開始

9:15 佐藤総務担当見送り

9:30 掃除、ゴミだし

10:30 昼食準備

11:30 藤川医師チームと昼食

13:00 病院、薬局視察 葛西、石山薬剤師、曾我看護師

15:00 掃除

16:20 釜石対策本部へ出発

17:00 買い出し

18:50 大槌高校着

19:00 藤川医師チームと夕食

佐藤総務を見送った後、一生懸命カレーの準備をした。

包丁を握ったのは何年ぶり？だろう。

レトルトカレーを何種類かまぜて、野菜を追加して煮込んだ。

11時半には完成していなければならないのに11時15分にカレーを焦がしてしまった。

でも、皆さんおいしいと食べてくれました。

「おいしい……」はじめて家族以外に食事の準備をした。

昼食、夕食ともに農事営業部(お米や水耕)の話題で盛り上がり、うれしかった。

前日場所を確認した病院、薬局まわりをした。

快く状況の説明と写真撮影の許可をいただいた。

大槌町に来て二日目。

大槌高校の廊下、コンビニ、仮設スーパー、病院、薬局などすれちがう人から

「おはようございます」

「こんにちは」

「おつかれさまです」

「こんばんわ」と皆が声をかけてくれた。

もっとがんばろうと思った。